

今後の課題

2009年4月から現在まで38例の患者さんを地域連携に導入しました。しかし実情はその倍の数に説明を行っています。当院で診てもらっているほうが病気に対し安心であるとか、近くの病院に受診したことがなくどんな病院かわからないという不安で拒否される患者さんも多いのが現状です。同意される患者さんは、通院が大変である（高齢者、地理的理由）ことや、近くにもともとかかりつけ医がいる場合にまだ限られて

います。今のところ当科が中心となり、決められた病院とネットワークを作っているわけではなく、あくまでも患者さんが希望する病院や、最も住まいに近い医療機関に直接お願いする形式をとっております。

まだはじめて3ヶ月が経過したばかりですが、今後も症例を増やし、かかりつけ医との連携のあり方や、情報交換の仕方など改善を加え、さらによりよい地域連携を作っていきたいと考えております。

患者さんへ治療予定や検査結果が記入できる手帳を作成して渡しています。

検査項目	検査の目的	正常値の目安
肝機能検査 血液検査		
ALT (GPT)	肝細胞が壊れている程度を示します。この数値が高いと炎症が強いことを示しますが、肝臓の障害程度とは関係なく、治療効果の判定に不可欠です。	ALT 35U/L 以下
ウイルス検査 血液検査		
ウイルス定性・定量検査	血液中のB型肝炎ウイルスの有無と量を調べます。治療効果の判定、治療効果の判定に不可欠です。	
血液学的検査 血液検査		
ヘモグロビン (Hb)	治療に伴う貧血の有無、程度を調べます。	12-16g/dL (男) 11-16g/dL (女)
白血球数 (WBC)	治療に伴う白血球減少の程度を調べます。	3,100~ 9,000/mm ³
好中球数	治療に伴う好中球減少の程度を調べます。	1,200~ 5,000/mm ³
血小板数 (PLT)	肝臓の増大と、治療に伴う血小板減少の程度を調べます。	14万~35万/mm ³
肝がんのマーカー		
AFP	がんの特異的な血清蛋白質を調べます。	10.0ng/ml

※正常値の目安は検査機関によって異なる場合があります。

紹介先医療機関

週3回のインターフェロンは紹介先医療機関で静脈注射を行います。
※副作用があり継続に問題がある場合はその限りではありません。

注射予定日

日	月	日	月
1		11	21
2		12	22
3		13	23
4		14	24
5		15	25
6		16	26
7		17	27
8		18	28
9		19	29
10		20	30

紹介先医療機関


☎011-

市立札幌病院
札幌市中央区北11条西14丁目 ☎011-726-2211 (代表)

B型慢性肝炎
インターフェロン治療

わたしのメモ帳

市立札幌病院 消化器内科

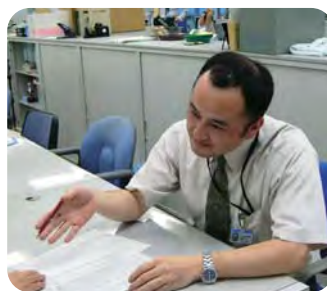


地域連携センター

地域連携係

いつもお世話になっております。

わたしたちは、地域医療機関の皆様との連携推進を主たる業務としております。広報誌「かざぐるま」の企画編集をはじめ、地域連携に関する講演会・研修会の支援などを行っています。



上：三上地域連携係員（事務職）
右：長田地域連携係長（看護師）



相談業務

予約業務

紹介患者さんの外来受診予約は委託職員が担当しています。



病状が安定されている外来患者さんに担当医が「地域完結型医療」のご理解をいただくように説明しております。そのあと、わたしたちが患者さんのご希望をお聞きし、皆様にご協力いただきました「連携医療機関アンケート」のデータを元に紹介させていただいております。

今後とも、よろしくお願いいたします。